

花で犠牲者鎮魂

KAORUKOさん 慈善公演



「もの言わぬ花に作り手としてのメッセージを込めた」と語るKAORUKOさん＝東京都中央区の浜離宮朝日ホール

カリスマ・フラワーアーティストのKAORUKOさん（横浜市中区）が、東京都内でこのほど開催された「東日本大震災復興支援コンサート」でバイオリニストのイヴリー・ギトリスさん（89）にイスラエル出

身、フランス・パリ在住のらとコラボレーションした。

KAORUKOさんは、共演した能楽ばやし大倉流大鼓奏者の大倉正之助さんの紹介で舞台の装花とブーケを担当。白いシャクヤク

やバラの花に癒やしと鎮魂のメッセージを込めるとともに、緑色に芽吹いたドウダンツツシやユーカリの木で勇気と希望を表現した。

「花は言葉を話さないが、悲しみに暮れる人々の傍らにたたずみ、その心の中で自由に変化していく。ギトリスさんや大倉さんの演奏によってもたらされた清らかな空気に同化する、そそとしたフラワーデザインを心掛けた」とKAORUKOさん。

コンサートの収益は、ギトリスさんが宮城県石巻市の避難所で行った演奏の資金や被災地への支援金として全額使われた。

KAORUKOさんは、ブライダルファッションデザイナーの第一人者・桂由美

さんの国内外のショーで装花やブーケを15年間担当。日本人として初めてパリのフラワーコーディネーターを手掛けたことでも知られる。

（松本 努）